

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	成人式事業			
担当部署・課長名	社会教育	課	社会教育	係 課長名 高田匡章

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	1 - 3	-
【施策名】 青少年の健全育成		総合計画書 (ページ)	38	

予算名	款 10 教育費	項 4 社会教育	目 1 社会教育総務費	事業 4 成人式事業費
-----	----------	----------	-------------	-------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 平成10年4月2日から平成11年4月1日までに出生した新成人	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 成人を迎える市内の新成人数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 新成人の門出について、式典を催しお祝いをする。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 市内新成人の成人式への参加数
	③ そのために何をしましたか。 成人式当日は、式典と実行委員による催し物の2部構成で実施した。 当日までに新成人による実行委員会を組織し、催し物の内容を検討した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 実行委員会の開催回数(6回)

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	838	841	797		
	成果指標	②の数値	人	576	571	133		
	目 標	②の目標値						
	目標設定の考え方							
	活動指標	③の数値		5	5	6		

3 経費	事業費(実績)		円	757,114	973,934	1,000,934	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	757,114	973,934	1,000,934	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	2,480,100	2,475,900	2,473,200		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	3,237,214	3,449,834	3,474,134		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 63年前前から実施しており、大人になったことを自覚し自ら生き抜こうとする青年を、祝い励ます目的である。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成16年度より実行委員会方式を採用し、第2部を新成人の企画で進行しているが、実行委員の確保に苦慮しており、25年度より市内各中学校より推薦を受けている。また、年度によって新成人の態度が問題になることがある。

仕 事 の 内 容	成人式事業			
担当部署・課長名	社会教育	課	社会教育	係 課長名 高田匡章

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	成人式については、1年近く前から「いつ行われるのか」「市外からの参加は可能か」等の問い合わせが多々あるため、成人式に参加しようという市民の意識、関心は高いと言える。また当市の参加率はここ数年、平均70%であり、参加率は近隣市と比べてもやや高いと言える。

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取り組んだ	取組手法 ②実行委員会 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 対象とする新成人に喜んでもらえるようなアイデアが必要なため、引き続き実行委員が意見を出しやすい環境を整える。	

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容 成人式実行委員会への新成人の積極的な参加が課題である。 市内各中学校から男女1名ずつ委員を推薦してもらっているが、なかなか委員が決まらず、全ての実行委員が揃うまでに時間がかかる。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 市内各中学校への推薦を早めに依頼したほか、決まった委員に直接候補を紹介してもらった。
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 今後も推薦の早期依頼と実行委員同士での紹介によって早めに実行委員会が組織できるようにしたい。 また、式典中新成人の私語を減らすことも今後の課題である。

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ・30年度の実行委員からの紹介も視野に入れる。 ・案内状に「式典中の私語をご遠慮ください」等の文言を入れる。
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・30年度の実行委員との連絡調整 ・案内状作成時の文言調整
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。

成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。
----	-----------	----	-------------